

卒業生 INTERVIEW

田野病院（高知県）
薬剤師

豊山 美琴さん（2014年卒）

MIKOTO TOYOYAMA

PROFILE

薬剤師。尼崎市出身。兵庫医科大学薬学部を卒業後、2014年から兵庫医科大学病院、関西労災病院を経て、今年4月から災害医療に取り組む、高知県の田野病院へ。大学の卒業式では代表として答辞を読んだ。

「もじもじしている暇はない」 被災地熊本に薬剤師がゆく

考えるよりも先に、身体が動いた

「熊本で震災が起きた。行くなら今じゃないか」。災害医療の道に導いてくれた恩師のその一声に、薬剤師の豊山氏は二つ返事で「はい、行ってきます」と答えた。震災発生から約10日後の2016年4月25日、激震地の益城町へ向かった。当時、薬剤師のキャリアとしては3年目、そして災害医療について学びだしてからまだ半年と間もなかった。そんな中、突如として訪れた実践の場。前任の薬剤師は彼女が現地に着く前日に退避しており、引き継ぎもなければ周りを見ず知らずの避難者ばかり。態勢の整っていない環境でどう自分の役割を果たしていったのか。「みんな目的は一緒なんです。この状況をどう切り抜けていくか、それが共通しているから頑張れました。それに、（錠剤を手にした他の支援者から）“これって何の薬？”など立て続けに声を掛けられるので、息つく間もなく仕事が降ってきました」。彼女は、錠剤の刻印をみれば薬効が分かるのだという。災害現場における薬剤師の役割は、そういった薬に関わる指導・在庫管理、そして衛生管理だ。避難所は感染症が蔓延しやすいため、予防や拡大防止のため、手洗いや消毒の指導にあたった。

ターニングポイントには いつも人との出会いがあった

被災地へすぐさま足を運ぶ瞬発力と、人々の懐に飛び込んでいくアグレッシブな姿勢に感嘆していると、彼女はこう答える。「一刻を争うような現場でもあるので、“どうしよう”とかもじ

もじしている場合じゃないんです」。そもそも、豊山氏が薬剤師をめざしたのも、災害医療に関心を抱いたのも、そして田野病院へ転職したのも、そこには人との出会いがあった。「人とのつながりがあったからこそ、私はここまでやってこられました」と彼女。身内に医療従事者が皆無である中、「向いていそう」と豊山さんに薬剤師を勧めたのは、母親の友人だった。そして兵庫医科大学病院に勤務しているときに、当時の救急科医局長からやる気を認められ、外部の講習会に参加を勧められたのが、PhDLSという薬剤師の災害医療の講習であり、そこで初めて出会い、「災害医療に力を入れている田野病院で一緒に働かないか」と誘ってくれたのが、現在の上司だった。そんなふうな、数珠つなぎのように出会いが会いを生み、自らの人生を加速させた。人生はどう転ぶか分からない。その分からなさを受け容れ、むしろ楽しんでしまおうという姿勢が、彼女が人を寄せつける秘密なのかもしれない。

自分の意見にも耳を傾けてもらうために

それでは、日々の習慣として、具体的に心掛けていることはあるのだろうか。「やっぱり自分から一歩踏み出すことを大事にしています。目を見て、私からあいさつをすること。そして、分からないことがあれば、積極的に質問します」。質問、それはもちろん分からないことを確かめるためであるが、彼女は質問をきっかけにコミュニケーションを生もうとしているようにも見える。「そうやって関係を密にしていくことで、次は私も言いたいことが言えるようになると思うんです」。例えば、初対面の人に対しては、やはり自分の意見を聞いてもらいにくい。だが、親しい間柄になっていくことで、意見を受け入れてもらいやすくなり、自らも躊躇なく発言できるようになる。田野病院に着任して3ヵ月、一見シンプルだが大切な「質問」と持ち前の素直さをもとに、彼女の挑戦は続いていく。



MY HISTORY

私と医療大

「学生生活の最後、卒業生総代に選出。勉強とアルバイトをこなして、目立つこともなかった自分に、突然届いた総代の知らせにはただただ驚きました。学生最後のこの思い出が、自信につながって今も“努力すれば成る”の精神で頑張っています」



田野病院で働く様子

NPO法人AMDAをとおし被災地熊本へ



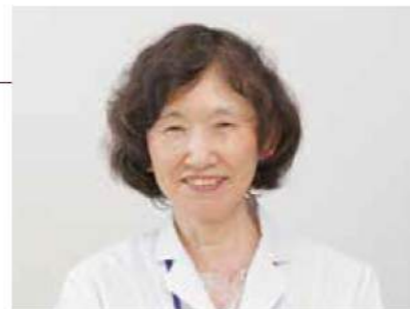
HYO-i LAB

研究紹介

悪性中皮腫の早期発見へ 世界を舞台に臨床支える遺伝子研究を

兵庫医科大学 遺伝学講座 講師 吉川 良恵

日本各地でこれから発症のピークが予想されている悪性中皮腫。
吉川講師は分子標的薬の開発等にもつながるがんゲノムを解析し、
従来の認識を覆す結果を明らかにした。
治療方法や早期診断など臨床現場への活用を視野に、
世界を舞台に研究を進めている。



従来の悪性中皮腫のイメージを変える解析結果

兵庫医科大学にとって悪性中皮腫の克服は命題ともいえる。近隣地域では、アスベストを扱う工場周辺住民の悪性中皮腫の多発が明らかになっており、2006年に大学病院に悪性中皮腫の診療拠点となる中皮腫センターを開設した。悪性中皮腫は主にアスベストが原因で引き起こされ、発症までに30~40年という長い年月がかかる早期発見の難しい疾病。早期に発見し、有効な治療へつなげることが課題になっている。

吉川講師は民間企業の研究職を経て、2009年に兵庫医科大学遺伝学講座に就任。悪性中皮腫に関する研究をスタートした。2016年に、悪性中皮腫に罹患した患者の染色体3番の3p21領域に複数の遺伝子の欠損が起きていることを発表。これは、がんゲノム医療などの最先端の遺伝子研究等で活用されている次世代シーケンサーによるゲノム解析では、変異の数が少ないとされてきた悪性中皮腫のがんゲノムへの認識を覆すものだった。

「長い時間をかけて発症するので、変異がごくわずかであるはずはないのでは」という信念のもと、これまで解析があまりされてこなかった200~1000程度の塩基配列の変化に注目した吉川講師。10塩基以下の配列の遺伝子変異の読み取りを得意とする次世代シーケンサーだけでなく、独自に設計した高解像度アレイCGHを含む複数のゲノム解析によって「小さい領域での変異ではなく、ゲノムがガサッと抜けてなくなったり他の領域にいつてしまったりする」激しいゲノムの破壊が起きていることを明らかにした。

次なる研究目標は分子標的薬への応用

仮説を基にした研究という指標がない中で大切にしていたのが、一つひとつの実験データの精度を上げること。個々の検体を複数の手法で解析・推測した結果を統合し、ゲノム全体の変異を求め出した。「限られた方法だけでがんを解析しても、見逃している点があることをアピールできたと思う」と振り返る吉川講

師。これが、国際研究発表の場でさまざまな研究者から引用される成果につながったといえる。

現在、研究対象を3p21以外の領域に広げてゲノム解析を進めている。悪性中皮腫のがん細胞での遺伝子変異はほとんどが遺伝子の欠損だが、増幅する遺伝子も見つけつつある状況だという。「タンパク発現を増やす遺伝子が見つかれば、がん細胞の増殖を抑える分子標的薬の開発につながる。なんとか治療法の開発につなげたい」と次なる研究の目標を語る。さらに、全く逆の発想で「あれだけ遺伝子をズタズタにしてしまうのだから、もう一歩進めてがんの自滅を促す方法が見つけられないか」とも構想している。

悪性中皮腫の克服へ 一歩ずつ研究を前へ

民間企業を経て医学部の研究現場で活躍する吉川講師は、兵庫医科大学の女性研究者における先駆的な存在。だが、「女性だからというハンディを感じることはなかった。むしろ薬学部出身なので医学部でどう自分なりの仕事を確立するかということに力を注いできた」と語る。2009年には医学博士を取得し、その後、悪性中皮腫患者に特有の変異であるBAP1遺伝子を見出し、これは大学病院での診断に取り入れられ臨床現場で活用されている。

「他病院に比べて患者さんの数が多い悪性中皮腫は、兵庫医科大学として特に克服していかなくてはいけない疾病。少しでも診断や治療の役に立ちたい」と常に治療の現場を見据えた研究姿勢を持つ。国からの審査を基に独創的・先駆的な研究に対して助成される科学研究費も就任翌年から連続して獲得。解析手法の改良のため、オランダ企業との共同研究も進めている。「研究が好きという気持ちでここまで来たと思う。実験は失敗のほうが多いので、いかにその中に楽しみをみつけていくかが大切」と笑顔をみせる。いくつもの研究を並行して進め、その中から新しい発見につながる糸口を探し出す。積み重ねた経験と努力によって、一歩一歩研究を前進させている。

URAからひとこと

悪性中皮腫は、アスベスト曝露が主要因の予後不良の腫瘍で、患者の増大が予想されますが、有効な治療法・治療標的を見いだせていません。吉川講師は、製薬企業における経験を基に、独自のアイデアと技術で、遺伝子変異・欠損を探索。今後、新たな発見が早期診断・治療に繋がると期待されます。

【太田 英樹URAより】

URA (University Research Administrator) とは、研究者とともに研究活動の企画やマネジメント等を担い、研究活動の活性化に寄与する職種です。現在、本法人には2名のURAが在籍しています。



遺伝学講座では、遺伝病、がん遺伝子、疾患と遺伝子の関連性を主なテーマとした研究が進められている。その中でも悪性中皮腫は主要な研究課題。学内の他講座や臨床の現場との共同研究が多く、最近ではモデルマウスを使った研究も盛んに行われている。

授業 CLOSE UP

兵庫医科大学
大学院医学研究科
「共通講義」

大学院では、医学研究に必要な知識を体系的に履修する「コースワーク」の一環として共通講義を開催。2018年度は49の講義を開講し、さまざまな講座による最新知見のセミナーや抄読会などを行っています。

日進月歩の神経科学の知識を学ぶことで各自の研究に生かし、またプレゼンテーションや論文作成のトレーニングの場として皆で切磋琢磨しています。
解剖学 神経科学部門 講師 小林 希実子

point 最新の神経科学の知見を紹介し討論し合う

大学院生であれば、どの講座の共通講義にも自由に参加することができ、横断的な学習を可能とする「共通講義」。複数の科目などとおし、学習課題について学んでいます。

神経科学抄読会では、大学院生を対象とした講義の一環として最新の神経科学の論文紹介を行っています。教員・大学院生が順番に担当し、各自が興味を持った論文を紹介したのち、その論文について多角的に討論し合うことで理解を深め知識を共有しています。



学生の声
大学院医学研究科
医科学専攻
消化管疾患学
1年次生
段 韶琪さん

先生方が毎回レベルの高い論文を紹介してくださり、世界中の最新の研究進展を知ることができるので、自身の研究にも多くのインスピレーションを与えてもらっています。
また、日本は綺麗な国だと思います。日本にこれから、毎日充実して、いろいろ新しいことを勉強して、優しい先生たちの助けをもらって、誠に感謝しています。

兵庫医療大学
装置を使った
実践的な療法を学ぶ
リハビリテーション学部
理学療法学科
「物理療法学実習」

理学療法において、運動療法、ADL練習と並んで三大手段と呼ばれる物理療法。この3年次の授業では、想定された症例に対して、物理療法を用いた治療を実践します。機器の操作のみならず、治療プログラムを立案・実施する実践力を身につけます。

各物理的エネルギーについて担当を決め、小グループに分かれて学生同士が教え合う「アクティブラーニング」の形式を取り入れています。能動的な学びをとおして、より深い理解が生まれています。
リハビリテーション学部 物理療法学科 教授 坂口 顕

point 1 2年次「物理療法学」からの継続した学び

2年次後期「物理療法学」で、電気刺激や超音波といった治療法の適応と効果、禁忌事項などを学びました。3年次の本授業では、2年次に学生が想定した症例に応じて各治療法を実践します。継続した学びをとおして、知識を実践に応用する難しさを学生が感じ、知識や実践への応用力を身につけるきっかけとしています。



学生の声

昔、自分がバスケットボールでケガをしたときに受けた理学療法にはこういう目的や意味があったのかと知ることができ、とても学びが深まりました。

物理療法学科 3年次生
河本 千明さん

point 2 装置の操作方法ではなく「現場での実践力」が重要

操作方法を学ぶだけでは、物理療法を有効に活用できません。患者さんの動作レベルと検査結果を結びつけたうえで、選んだ症例に対する最適なプログラムを立案・実施する力が大切です。そのプロセスに必要な物理療法の活用方法を身につけるのがこの授業の目的です。



2年次の講義で選んだ物理療法を学生それぞれが担当して、他の学生にレクチャーしました。講義のときに「思っていたより難しいな…」など実際に行うことで多くの学びを得られました。

物理療法学科 3年次生
京井 拓哉さん

課外活動 REPORT

兵庫医科大学
ブルガリアから来日!
ソフィア医科大学から
初の留学生受け入れ

兵庫医科大学とブルガリア・ソフィア医科大学は、2013年に学術交流協定を締結しました。その協定締結後初めて、留学生2名が2018年2月26日～3月23日の期間に来日し、日本の医療について学びました。

初の留学生交流

学術交流協定の締結後も実質的に相互の留学が実現していなかったため、ソフィア医科大学から留学生が訪れるのは、今回が初めてです。6年次にあたる留学生2名は、主に兵庫医科大学病院にて実習を行うとともに、教職員や学生と交流を行いました。



シミュレーターで学ぶ留学生



呼吸器外科 医局にて

病院内のさまざまな診療科でカンファレンスや実習に参加

留学生を受け入れた兵庫医科大学病院の診療科は、麻酔科・疼痛制御科、呼吸器外科、肝・胆・膵外科、脳神経外科の4診療科で、各科2週間ずつ臨床実習を行いました。受け入れ診療科によると、2名とも非常に優秀で、カンファレンス等も英語で行うなど、兵庫医科大学側の医師やスタッフにとっても良い刺激となったそうです。



脳神経外科病棟にて



手術中の様子

大学としては、留学生を積極的に受け入れていく方針とすることに加え、兵庫医科大学からブルガリアへの学生派遣も視野に入れて、今後ますます国際交流を行っていきます。

兵庫医療大学
地域活性にも貢献!
薬草PRプロジェクト活動

兵庫県から助成を受け、薬学部教員チーム「薬活オウルズ」が薬学部生とともに「もっと兵庫の薬草を知ろう・広めよう・味わおうプロジェクト」を推進しています。

薬草を用いた商品の共同開発及び販売

兵庫県丹波市山南町は古くから薬草の生産地として知られています。そうした特色を生かして町おこしをするべく漢方の原料となる「とうき」を用いて「とうき葉うどん」「とうき葉パン」等を開発。これらの商品は、薬草薬樹公園で開催された「さんなん和田漢方の里まつり」で販売され、薬草産地の活性化に貢献しました。



薬草を身近に知ってもらうイベントの開催

丹波市立和田小学校の5・6年生を本学へ招き、薬草にちなんだ科学の講座「和田小学校薬草特別講義」を開催しました。実験室では薬用植物「酔芙蓉」由来の色素の色調が酸性、中性、そしてアルカリ性で変化する様子を観察するなど、「薬草」と「科学」を楽しんで学びました。



参加学生コメント

北京中薬大学への短期留学を経験したことで、「薬草を多くの人に知ってもらい、味わってもらいたい」という気持ちを持ち、薬活オウルズに参加しました。この活動では生薬を自ら採集したり、漢方を用いた商品を地域の方々へ販売したりすることで、実際に生産者や消費者の方々との接する機会が多くあります。これらの経験を経て、将来薬師になった際、漢方薬について患者さんに相談されたときに、より身近に漢方薬というものを伝えることができ、それによって患者さんの健康長寿に貢献できるのではないかと期待しています。

薬学部 5年次生 下農 修司

チームの力

法人内のチームの動きをご紹介します

～さまざまな「泌尿器がん」をチームで治療～ **泌尿器科×放射線科**

兵庫医科大学病院では、腎がんや膀胱がん、前立腺がんなどの「泌尿器がん」に対して診療科の枠を超えたチーム医療を行うことで、患者さんの状態やニーズに合わせた“低侵襲なオーダーメイド治療”を可能としています。

たとえば、腎がん。昔は腎臓すべてを摘除することが一般的でしたが、今は小さな腎がんであれば腫瘍のみを切除し、腎機能を温存することが可能です。泌尿器科では2014年から手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を導入し、より安全かつ短時間でこの手術を行っています。

一方、患者さんがご高齢で全身麻酔や手術のリスクが高い場合は、カテーテルの扱いに長けた放射線科と連携し、腫瘍に治療用針を直接刺して壊死させる「ラジ

オ波焼灼術」で治療。平均4～5日と入院期間が短くて済む治療法を選択することで、患者さん一人ひとりのQOL(生活の質)にまで配慮した医療を提供しているのです。このように、兵庫医科大学病院では今後も洗練されたチーム医療をとおして、良質なオーダーメイド医療を提供していきます。



泌尿器科ダ・ヴィンチ手術認定資格取得メンバー



放射線治療メンバー

知ってる？ 兵庫医科大学

学校法人兵庫医科大学の“すごい”や“隠れた魅力”をご紹介します

過去と未来の架け橋となる「アーカイブズ室」

兵庫医科大学および創設者 森村茂樹の歴史資料が詰まった「アーカイブズ室」。西宮キャンパス 教育研究棟3階ラーニングスクエアを通り抜けた一番奥に、その部屋があります。

入室するとまず目に飛び込んでくるのが、東側の蛇腹形式の壁に描かれた「大学創設までの歩み」。前身である武庫川脳病院時代の紋章や、創設者・森村茂樹の手書きの博士論文などが重厚に展示されています。また西側には、設置認可時に掲げた大学の門標の現物や、ひときわ明るい展示ボックスの中に、開学初年度の学生便覧や大学誌創刊号、学生会機関誌や学生のノートなどを保管。当時の学生生活を思い浮かべることができます。

このほか、建学の精神の解説や歴代学長の紹介、卒業アルバムのレプリカ設置など、兵庫医科大学関係者が唸るような資料も多々あり、在学生や卒業生同士の情報交換の場としても機能する、架け橋のような存在の一室です。



兵庫医科大学アーカイブズ室



新武庫川病院案内誌



初代学生便覧や大学誌など



武庫川脳病院の門標

人事情報

教授就任挨拶



兵庫医科大学 リハビリテーション学部 理学療法学科
坂口 顕 教授
(2018年6月1日就任)

私は、立命館大学法学部を卒業後、製薬会社のMRを経て、理学療法士となりました。県立広島大学にて修士、神戸大学にて博士学位を取得し、本学には、2007年の開学と同時に講師として着任いたしました。各種物理療法による治療の効果を、臨床研究・基礎研究にて検証する一方、フィジオ(トレーナー)としてアジア大会などにも帯同、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの資格を取得するなど、スポーツ分野の理学療法にも関わっております。これからは実践力を身につけた理学療法士を精一杯、育てて参ります。

大阪北部地震 REPORT

～この度の震災で被災された方にお見舞い申し上げます～

2018年6月18日 7:58に、大阪北部を震源地とした最大震度6弱の都市型地震が発生しました。この地震により、兵庫県南東部も強く揺れ、すべての交通機関が半日以上まひ。通勤時間帯に地震が発生したため、本法人職員にも多くの通勤困難者が出ました。

兵庫医科大学および兵庫医療大学は、終日休講に。兵庫医科大学病院は建物や設備に大きな損害等もなく、エレベーターの停止により一部手術開始時間の遅延などは発生したものの、通常どおりの診療を実施しました。加えて、重症患者受け入れに対応するため、病床中央管理部門が中心となり、EICU病棟、救急病棟や脳神経外科病棟の調整を行いました。

翌19日は、兵庫医科大学病院からDMAT(災害派遣医療チーム)を大阪市に派遣。ライフラインの停止した国立循環器病センターでの患者転院業務や、大阪大学医学部附属病院での活動拠点本部業務にあたりました。



DMATの出動前ブリーフィング



病院から出発するDMATドクターカー



ホワイトボードで院内の被災状況を記録

患者様の個人情報記録されたノート型パソコンの紛失について

2018年6月8日、兵庫医科大学病院に勤務する医師が患者様の個人情報記録されたノート型パソコンを紛失する事案が発生いたしました。今後、職員の個人情報データの管理指導をさらに強化し、セキュリティ強化対策も検討のうえ、再発の防止に取り組んでまいります。



2018年7月6日より、再発防止策の一環として、個人情報管理状況巡視の医局ラウンドを開始しました。

なるほど医学体験
HANSHIN健康メッセ
～遊んで学んで広がる健康の絆～
2018

会場 **ハービスHALL** (大阪北区東淀川2-5-25 ハービス OSAKA B2F)
アクセス 阪神御田駅(西淀川)より徒歩6分
主催 なるほど医学体験！ HANSHIN健康メッセ実行委員会

イベントの詳細はホームページをチェック！
<https://kenko-messe.com>

神戸大学 学校法人兵庫医科大学 (兵庫医科大学病院・兵庫医療大学) 阪神電車

2018 **8.24** 金 **25** 土 **26** 日
13:00-18:00 10:00-18:00 10:00-17:00

◆表彰・受賞など

◆兵庫医科大学 ベストティーチャー賞

2018年3月22日の教授会の前に、「2017年度ベストティーチャー賞」の表彰を行いました。2017年度の各賞の受賞者及び、受賞料は次のとおりです。

受賞部門	受賞者・受賞料
講義部門 第1学年次	藤谷 昌司 准教授 (解剖学 神経科学部門)
講義部門 第2学年次	成瀬 均 教授 (医学教育学)
講義部門 第3学年次	服部 益治 教授 (小児科学)
講義部門 第4学年次	吉村 紳一 主任教授 (脳神経外科学)
クリニック部門	炎症性腸疾患内科
ポリクリ部門	精神科神経科
作問部門	佐藤 鮎子 講師 (病理学 分子病理部門)
	江口 明世 助教 (内科学 総合診療科)
ブラッシュアップ部門	田中 宏幸 准教授 (産科婦人科学)

ベストティーチャー賞 授賞式風景



野口学長より各受賞者に表彰状が授与されました

◆兵庫医療大学 レクチャー・オブ・ザ・イヤー

2018年4月24日の全学教職員総会にて、「レクチャー・オブ・ザ・イヤー」の表彰を行いました。2017年度の受賞者は次のとおりです。

受賞者	受賞科目
山本 悟史 教授 (薬学部 医療薬学科)	「新・生理化学Ⅲ (循環・消化)」
西村 明子 教授 (看護学部 看護学科)	「母性看護援助論」
山崎 せつ子 教授 (リハビリテーション学部 作業療法学科)	「認知障害治療学」

レクチャー・オブ・ザ・イヤー 授賞式風景



馬場学長より各受賞者に表彰状が授与されました

兵庫医科大学ベストティーチャー賞及び、兵庫医療大学レクチャー・オブ・ザ・イヤーは、毎年度の「学生による授業評価アンケート」の集計結果によって決定される賞です。

◆兵庫医科大学 名誉教授 称号授与

兵庫医科大学の教育もしくは学術上の功績が特に顕著であった先生方に対して、その功労を顕彰するため、名誉教授の称号を授与しました。2018年の称号授与者は次の5名です。



小川 啓恭 名誉教授 内科学 血液内科
佐野 統 名誉教授 内科学 リウマチ・膠原病科
中西 健 名誉教授 内科学 腎透析科
宮本 裕治 名誉教授 外科学 心臓血管外科
松山 知弘 名誉教授 先端医学研究所

◆兵庫医科大学病院の医師3名が「平成30年度兵庫県健康財団がん研究奨励賞」を受賞

2018年6月5日、兵庫医科大学病院の医師3名が「平成30年度兵庫県健康財団がん研究奨励賞」を受賞し、兵庫県庁にて表彰されました。この賞は、公益財団法人兵庫県健康財団が、一人でもがんや腎疾患で亡くなる方が少なくなることを願い、がんの予防と診断・治療に関して専門的研究を行っている個人または施設に贈呈する賞です。

受賞者および受賞演題

 三上 浩司 講師 呼吸器内科 「癌幹細胞化による分子標的薬の耐性獲得機序の解明とその克服」	 中西 保貴 助教 上部消化管外科 「進行胃癌に対する腫瘍浸潤制御性T細胞を標的とした治療標的分子の探索」	 神田 修治 病院助手 歯科口腔外科 「放射線照射後の再発口腔癌に対する再照射を目指したin vitro, in vivo モデルの作製」
---	--	--

◆耳鼻咽喉科・頭頸部外科学の阪上主任教授が学会の宿題報告者に選出

兵庫医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学の阪上雅史主任教授が2018年度の日本耳鼻咽喉科学会の宿題報告者に選出され、5月30日から6月2日にかけて横浜で開催された「第119回日本耳鼻咽喉科学会」において、特別講演を行いました。この宿題報告は、毎年、数多くの学会会員の中から2名のみを与えられる名誉ある選出です。

演題:「QOLからみた耳科手術戦略」



阪上主任教授による特別講演

◆財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

(単位:千円)

助成団体名	研究課題名	研究者	交付額
一般財団法人 藤井節郎記念大阪基礎医学研究奨励会	MARCHの機能異常によるアレルギー発症の探索	石戸 聡 教授 (兵庫医科大学 病原微生物学)	2,000
(公財)ソルト・サイエンス研究財団	血管内皮細胞における鉄取り込み受容体と食塩感受性高血圧の関連	内藤 由朗 講師 (兵庫医科大学 内科学 循環器内科)	1,200

◆主な行事予定(8月～10月)

8月		
4日・5日・25日・26日	兵庫医療大学	オープンキャンパス
9日	兵庫医療大学	社会人スキル対策講座(リハビリテーション学部 4年次対象)
9日・10日	兵庫医科大学	オープンキャンパス
11日・12日	兵庫医療大学	大学都市KOBE!大学の魅力発信イベント
25日・26日	兵庫医療大学	大学都市KOBE!リレー 講義「神戸の魅力」
24日～26日	学校法人兵庫医科大学	HANSHIN健康メッセ2018
25日	学校法人兵庫医科大学	第9回 学校法人兵庫医科大学 リハビリテーション関連施設合同セミナー
	ささやま医療センター	丹波篠山・幸せ健康長寿の地域づくりセミナー(兵庫医科大学総合診療専門医プログラム説明会)
26日	ささやま医療センター	ささやま老人保健施設 納涼祭
30日	兵庫医療大学	平成30年度 兵庫医療大学 第3回学術講演会
9月		
1日	兵庫医科大学病院	兵庫医科大学病院 第4回市民健康フォーラム
3日～7日	学校法人兵庫医科大学	チーム医療演習(兵庫医科大学3年次・兵庫医科大学4年次 合同チュートリアル)
6日	兵庫医療大学	社会人スキルガイダンス～接客マナー講座～(看護学部 3年次対象)
10日～12日	学校法人兵庫医科大学	早期臨床体験実習(兵庫医科大学1年次・兵庫医科大学1年次 合同チュートリアル)
14日	兵庫医科大学病院	医療講演会「がんゲノム医療推進に向けた厚生労働省の取り組み」
19日	ささやま医療センター	ささやま老人保健施設 敬老会
22日	兵庫医療大学	大学院1期入学試験
29日	兵庫医療大学	保護者懇談会
10月		
1日	学校法人兵庫医科大学	認定看護師教育課程(手術看護分野)入学式
8日	兵庫医療大学	ホームカミングディ・同窓会
7日・8日	兵庫医療大学	第11回海祭(大学祭)
16日	兵庫医科大学	兵庫医科大学篤志解剖体慰霊祭

◆学校法人兵庫医科大学基金 兵医・萌えの会 状況報告

みなさまからのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

2009年7月1日～2018年6月30日						
区分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
申込	350	74,555,000円	2,126	148,670,498円	2,476	223,225,498円
入金	350	74,555,000円	2,121	148,510,498円	2,471	223,065,498円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧(50音順)

企業等法人(5法人)

●ご芳名のみ(2法人)

阪神消毒サービス 様 (匿名3法人)
有限会社宝塚新樹園 様

役員・教職員等(2名)

●ご芳名・金額記載(1名)
飯田 俊一 様 50,000円

●ご芳名のみ(1名)
畑 守人 様

緑樹会・後援会・その他個人(114名)

●ご芳名・金額記載(27名)

足立 紀尚 様 250,000円	永沼 不二夫 様 50,000円	上村 外吾男 様	田中 幸雄 様 福永 泰生 様
足立 淑恵 様 500,000円	西原 力 様 10,000円	上村 幹子 様	山口 博子 様
飯田 嘉代子 様 10,000円	比奈本 美智子 様 500,000円	太田 圭彦 様	
飯田 早子 様 10,000円	松本 秀樹 様 50,000円	河合 勲 様	
大幸 敏子 様 500,000円	松本 悠子 様 10,000円	木島 喜世子 様	
岡 哲夫 様 50,000円	三宅 早弓 様 50,000円	熊本 茂美 様	
笹原 正子 様 50,000円	三輪 純人 様 10,000円	黒木 一敏 様	
佐藤 角夫 様 50,000円	三輪 淑子 様 50,000円	黒木 久子 様	
佐藤 由紀子 様 10,000円	八木 信吾 様 50,000円	菰口 良子 様	
澤田 雅好 様 50,000円	八木 素子 様 10,000円	阪本 治男 様	
瀬尾 多嘉子 様 10,000円	若狭 チサ子 様 50,000円	治部 和夫 様	
瀬尾 宏郎 様 50,000円	若狭 正夫 様 500,000円	下村 葉子 様	
武田 三代子 様 50,000円	渡邊 みち子 様 50,000円	田中 節子 様	
中島 育代 様 50,000円			(匿名59名)

PROUD
プラウド甲子園四番町

The MEMORIAL

新たな時を刻み、美しき壇上の佇まい、
甲子園四番町に登壇。

全邸南東・南西向き | 住居専有面積 **66㎡台～128㎡台**の空間設計 | 自由設計による、私邸を描く醍醐味。
「市立鳴尾北小学校」徒歩**12分** | 「市立学文中学校」徒歩**14分**

《予約制》モデルルーム案内会開催中

阪神本線《特急停車駅》
「甲子園」駅 **フラット徒歩8分**

成熟と進化の街、甲子園邸宅地
「番町街」に誕生。

現地周辺の街並み(徒歩7分/約500m)

「プラウド甲子園四番町」予告物件概要 ●所在地/兵庫県西宮市甲子園四番町39番(地番) ●交通/阪神電鉄阪神本線「甲子園」駅徒歩8分 ●用途地域/第一種中高層住居専用地域・第二種中高層住宅専用地域 ●敷地面積/1,703.83㎡ ●建築確認番号/第KKK01706218号(平成30年4月6日付) ●構造・規模/鉄筋コンクリート造 地上6階 地下1階建て ●総戸数/40戸 ●販売戸数/未定 ●専有面積/66.61㎡～128.07㎡ ●バルコニー面積/6.96㎡～22.42㎡ ●ルーパルコニー面積/15.20㎡～45.01㎡ ●テラス面積/7.20㎡～13.28㎡ ●専用庭面積/5.82㎡～12.73㎡ ●間取り/2LDK～4LDK ●販売予定価格(税込)/未定 ●販売予定時期/2018年8月上旬(予定) ※本広告を行い取引を開始するまでは予約・契約の受付は一切できません。また申込の順位に関する措置は講じられません。 ●本物件は一括して販売するか、分割して販売するか未定です。記載の専有面積等は全戸に対してのものです。販売戸数等の未確定部分につきましては、本広告で表示いたします。 ●分譲後の敷地の権利形態/専有面積割合による所有権の共有 ●管理形態/区分所有者全員で管理組合を結成後、野村不動産パートナーズ株式会社に委託予定 ●竣工時期/2019年8月中旬(予定) ●入居時期/2019年9月下旬(予定) ●事業主(売主)/野村不動産株式会社 関西支社 [国土交通大臣免許(13)第1370号・(一社)不動産協会会員・(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟] 〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目4番4号(野村不動産四ツ橋ビル15階)フリーダイヤル:0120-06-6522 ●施工/大末建設株式会社

「予告広告」 本広告を行い取引を開始するまでは、契約又は予約の申込みは一切応じられません。また申込順位の確保に関する措置も講じられません。販売戸数・価格等につきましては、今後弊社ウェブサイト上で行う本広告にて表示いたします。(販売予定時期/2018年8月上旬予定)

あしたを、つなぐ ― 野村不動産グループ

モデルルーム案内会ご予約・お問い合わせは「プラウド甲子園四番町」マンションサロン
0120-840-540 プラウド 甲子園 検索

学校法人 兵庫医科大学

建学の精神

社会の福祉への奉仕
人間への深い愛
人間への幅の広い科学的理解



西宮キャンパス

兵庫医科大学 兵庫医科大学病院

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
☎0798-45-6111(代)
<http://www.hyo-med.ac.jp/> (大学)
<http://www.hosp.hyo-med.ac.jp/> (病院)
<http://www.corp.hyo-med.ac.jp/> (法人)

兵庫医科大学

健康医学クリニック

〒663-8137 兵庫県西宮市池開町3番24号
☎0120-682-701
<https://www.hyo-med-kenshin.com/>



神戸キャンパス

兵庫医療大学

〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6
☎078-304-3000(代)
<https://www.huhs.ac.jp/>



篠山キャンパス

兵庫医科大学

ささやま医療センター

兵庫医科大学

ささやま老人保健施設

兵庫医科大学

ささやま居宅サービスセンター

〒669-2321 兵庫県篠山市黒岡5番地
☎079-552-1181(代)
<http://www.sasayama.hyo-med.ac.jp/>
